

第6回 Trans-Catheter Imaging Forum

トランスカテーテル イメージングフォーラム

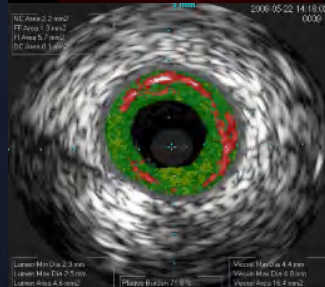
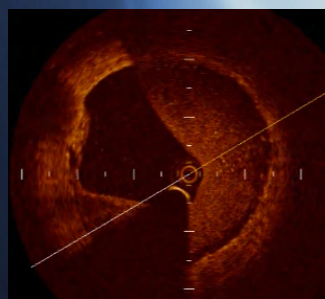
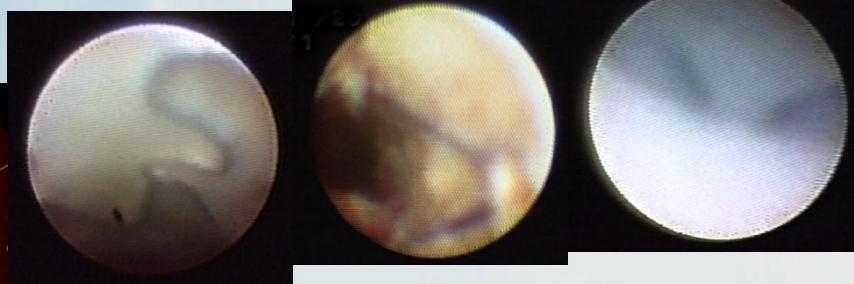
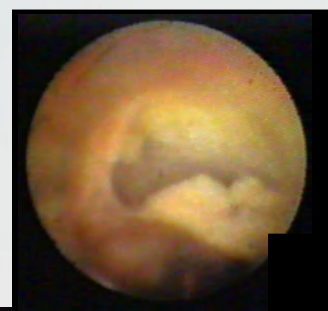


TCIF 2011

会期： 2011年6月10日(金)、11日(土)

会場： 大阪ビジネスパーク
クリスタルタワー 20階
大阪府中央区城見1-2-27

中継施設： 大阪警察病院



心カテライブ中継を通して、各種冠動脈疾患の病態・診断・治療について徹底的に討論する！

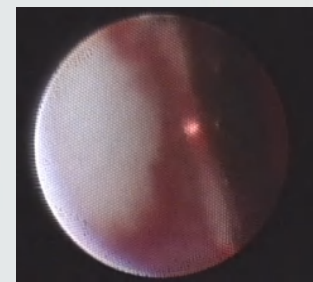
全症例で冠動脈CT・CAG・IVUS・VH-IVUS・OCT・血管内視鏡画像を呈示して徹底比較する。

急性冠症候群、ステント血栓症、DES再狭窄の病態と対策は？ Distal Protectionを使用する？ DESの選択は？ステントはどこまでかける？ CTでどこまで診断できる？

取得可能点数(予定)

- 『CVIT専門医認定医資格更新 ライブ点数』
- 『循環器専門医資格更新単位』
- 『大阪府医師会生涯研修システム』

<http://tcif.ev4u.jp/>



本年も、冠動脈CTやIVUS、OCT、血管内視鏡を中心とした冠動脈イメージングのライブ Trans-Catheter Imaging Forum (TCIF2011)を平成23年6月10日(金)、11日(土)の日程で、大阪ビジネスパーク・クリスタルタワー(大阪府中央区城見1-2-27 TEL:06-6949-5151)にて開催することになりました。大阪警察病院の二つのカテ室からさまざまな症例の画像をライブで提供し、クリスタルタワーの会場で存分に議論していただきます。

本ライブにおいては、各種イメージングの解析から冠動脈内の病態生理に迫り、治療ストラテジーの根拠となる病態解釈について、日本循環器界のオピニオンリーダーの先生方とともにディスカッションする機会を提供しようと考えています。このようなディスカッションは、専門医の先生方にとっては、日頃から抱えている疑問について各種専門領域の先生方と存分に意見を闘わせることで解決の糸口を掴む機会として、また一般臨床医あるいはコメディカルの先生方にとっては、冠動脈イメージングにおける最先端の知見や考え方を知る機会として、有意義なものになることを期待しています。循環器専門医のみならず一般内科医、研修医、コメディカルスタッフ、さらにはこの領域に関わる企業の方など多くの方々に参加いただきたいと願っています。

TCIF2011事務局

演題募集要項

テーマ:冠動脈疾患の非侵襲的・侵襲的血管内イメージング

本会中に10分間のレクチャーとして発表していただき、十分な討論をしていただきます。
最優秀演題の発表者は表彰の上、次回のFacultyとして招聘させていただきます。

×切はホームページ上で掲示します。

申込方法:E-mailでの申し込みとします。

演者名、演題名、所属・抄録本文(400字以内)を明記のうえ、テキストファイルあるいはWordファイルにて添付し、事務局までお送りください。題名を「演題応募」としてください。

E-mail: tcif@oph.gr.jp

代表世話人

栗林幸夫 (慶應義塾大学医学部)
南都伸介 (大阪大学医学部)
平山篤志 (日本大学医学部)
上田恭敬 (大阪警察病院)

顧問

児玉和久 (大阪警察病院)
齋藤 穎 (博鳳会敬愛病院)

事務局

大阪警察病院 心臓センター
大阪市天王寺区北山町10-31
TEL 06-6771-6051 FAX 06-6775-2845

E-mail: tcif@oph.gr.jp

HP: <http://tcif.ev4u.jp/>

事務局 担当

小松 誠(尼崎中央病院)
西尾まゆ(大阪警察病院)